

こどもとしょかん

ニュース

H29・1・2月号 No.360

とりの鳥



今年の干支は、酉です。かわいらしくて、きれいな声で鳴き、みんなから好かれている動物です。図書館には、鳥にかかわる本もたくさんあります。今年の歳神様である「鳥」について、もの知りになれそうな本を選んでみました。

☆鳥にちなんだことばやおはなしの本



『鳥のことわざ探偵団』
国松 俊英／著
藤本 一郎／画
童心社 387

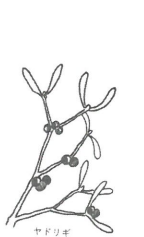


『世界の鳥の民話』
日本民話の会
外国民話研究会／編訳
三弥井書店 J388



『オールド・ブルー』
：世界に1羽の母鳥』
メアリ・テイラー／作
百々 佑利子／訳
さ・え・ら書房 488

☆鳥となかよくなれる本



『野鳥』
～365日出会う大自然～
叶内 拓哉／著
誠文堂新光社 488



『鳥のなき声ずかん』
藪内 正幸／ぶん・え
篠原 栄太／もじ
福音館書店 488



『とりをよぼう!』
ひさかたチャイルド
488



図書館三二知識

～特別整理期間ってなに？～

図書館は年に一度、本の特別整理のため一週間くらい閉館します。福岡市の総合図書館や分館でも、2月から3月にかけて毎年行います。

その期間には、どんなことをしているとお思いますか？
本には住所が決まっています。その住所のとおりにならなければ、本をさがす人はまよわずにすみます。ところが、本当の住所とちがうところにもどされたりすると本が見つからなくて、とてもこまっています。読みたい人に本をわたすことができなくなってしまい、読みたい人も本を読めなくてがっかりしてしまいます。

そこで、図書館では本がきちんと住所のとおりにならんでいるかを1冊ずつ点検し、整理をします。それが本の特別整理です。特別整理期間には、他にもいろいろと仕事をします。たとえば、あまり使われなくなった本を書庫にうつしたり、本のならべかえをしたり、いたんだ本などを整理します。



親子で作ろうフェルトのアクセサリ

フィンランドの冬の暮らしやフェルト作品を紹介する映像を見た後に、可愛いフェルトボールを使って、ネックレスなどのアクセサリを作ります。
【日時】2017年2月12日(日) 1回目:10:30～12:00
2回目:14:00～15:30

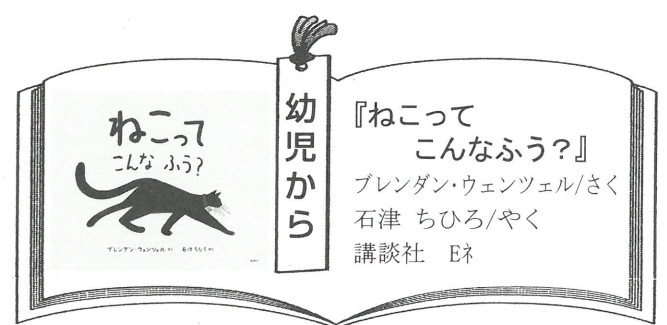
【会場】福岡市博物館2階多目的研修室
【定員】各回15組(6歳以上の子どもと保護者)要事前申込・応募多数の場合は抽選
【参加費】1,000円(親子1組)※子どもが2人以上の場合は、1人につき追加1,000円
【申込締切】1月25日(水)
詳細はホームページにてご確認ください。
<http://museum.city.fukuoka.jp/exhibition/tokubetsu.html#finland>

福岡市総合図書館開館20周年記念おはなし会

開館20周年
福岡市総合図書館
*0～2歳向け 11:00～11:50 3階託児室、第2会議室
*幼児～小学生向け 13:00～15:45 1階おはなしの家

こども図書館の1月「やってみよう つくってみよう」本の展示
2月「ことばであそぼう」

特別整理期間のお知らせ
中央、博多、城南、西、和白図書館 1/30(月)～2/8(水)まで
みなみ、さくら、はかたみなみ、せいぶ、としょかん 2/20(月)～3/1(水)まで
南、早良、博多南、西部図書館 2/20(月)～2/27(月)まで
東図書館
※なお総合図書館は、3月に予定しています。



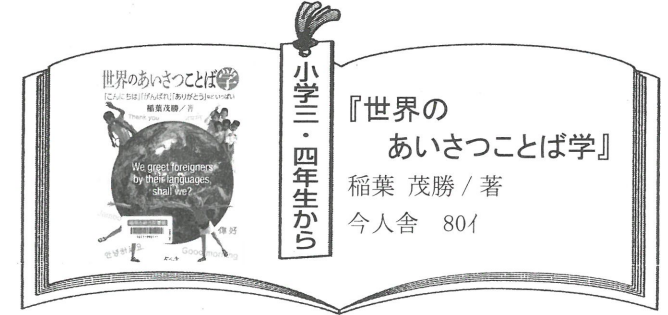
幼児から
『ねこって こんなふう?』
ブレンダン・ウェンツェル/さく
石津 ちひろ/やく
講談社 Eネ



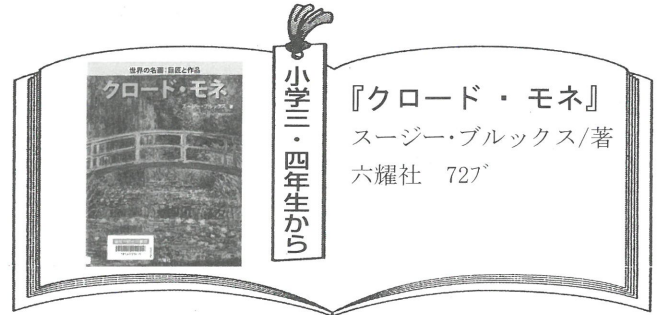
小学二年生から
『うおいちば』
安江 リエ/ぶん
田中 清代/え
福音館書店 E



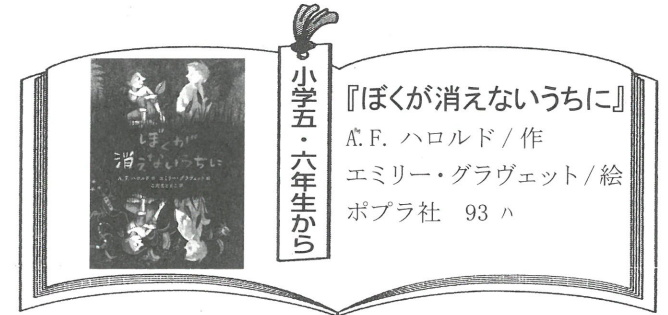
小学二年生から
『しゅくだいとびばこ』
福田 岩緒 / 作・絵
PHP 研究所 913 77



小学三・四年生から
『世界のあいさつことば学』
稲葉 茂勝 / 著
今人舎 804

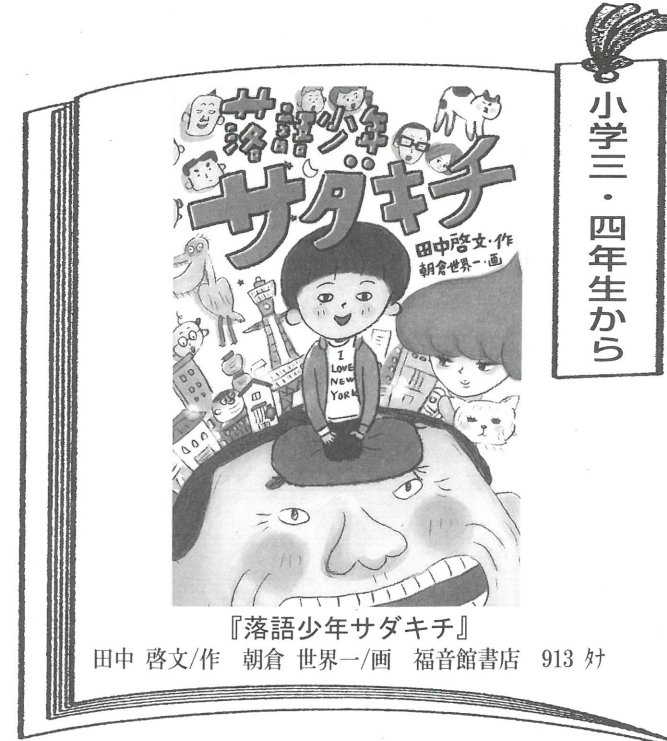


小学三・四年生から
『クロード・モネ』
スージー・ブルックス/著
六耀社 727



小学五・六年生から
『ぼくが消えないうちに』
A.F. ハロルド / 作
エミリー・グラヴェット / 絵
ポプラ社 93 8

あたらしい本のしょうがい



小学三・四年生から

ただし、しょうがく、ねんせい、べんきょう、忠志は小学5年生。勉強ができるわけでもなく、スポーツも苦手、たのまれれば「いや」と言えない性格。ある日、不良にからまれていた老人を助けたら、お礼にと老人から落語を聞かされた。クラスのおたのしみ会でその落語を語ったら大評判。忠志のあだ名は「タダッチ」から落語の主人公の「サダキチ」に変わった。いつのまにか講堂での落語会が決定され、忠志はどうとう稽古するしかないところをきめた。じゅくむ、とちゅう、ろうじん、ちかす、きん、塾へ向かう途中、あの老人が近くに住むと聞いた神社で稽古を始めると、ふわんと体がういたような感覚が……。人のいい忠志が落語のネタで、むずかしい場面をきりぬけるたのしい物語。

『落語少年サダキチ』
田中 啓文/作 朝倉 世界一/画 福音館書店 913 外



福岡市総合図書館
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 ☎092(852)0600
ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>